

最高品質米全国の消費者のもとへ

～「青天の霹靂」初出荷式～

JA全農あおもりは10月2日、平川低温倉庫で「青天の霹靂（へきれき）」初出荷式を開いた。生産者や関係者らが参加し、594俵（1俵60kg）の初出荷を見守った。

全農あおもり運営委員会の酒井一由副委員長は「青天の霹靂は、平成29年産において特A米を4年連続取得し、現在の検査状況においても特Aランク米取得は確実視されている。今後もブランドの維持・安定を図るためのキャンペーンを積極的に実施していく」と意気込みを話した。

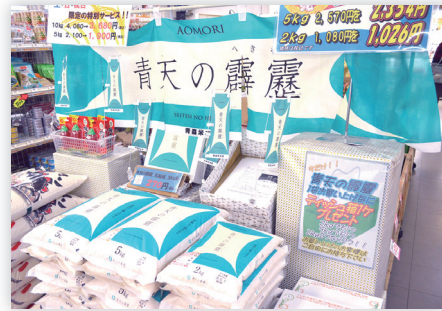
代表者5人がテープカットをした後、県内や首都圏の米卸へ向けて出発したトラックを笑顔で見送った。

当JA管内では340経営体が栽培し、約8万俵を出荷する予定。

30年産米の「青天の霹靂」は、全国で10月6日より販売を開始した。



テープカットをする代表者



販売開始された
青天の霹靂

「ほめられ酢」など使って便利さ実感

～女性大学「みらいカレッジ」～

9月20日、本店で女性大学「みらいカレッジ」の9月講座が開かれ、受講生7人が参加した。

株式会社Aコープ東北の工藤美紀さんが、Aコープマーク品の利点とレシピを紹介。「Aコープマーク商品は国産にこだわり、低添加物で安全・安心な食品。いろんなレシピにAコープ商品が使えるので、実際に試してみたい」と話した。受講生は「塩こうじパウダー」で鶏肉と大根の煮物など4品を料理。工藤さんは「浅漬けの素かつお・こんぶ風味」を使った卵焼きなどを紹介し、みんなで試食した。

受講生は「ほめられ酢などを使うことで味付けが簡単だった。自宅でも使いたい」と話した。



Aコープ商品を使って料理する受講生

盗難防止呼びかける

～りんご警備隊出動式～

黒石地区防犯協会と黒石警察署は9月27日、同署で「りんご盗難防止出動式」を開き、協会や警察、JA関係者ら約100人が参加。

トキや早生ふじなど中生種の収穫時期を迎え、盗難被害防止のパトロールなどを行い、防犯体制の強化を要請した。

当JAの佐藤佳克営農購買担当常務は「りんごの収穫期を迎えるにあたり精魂込めて育てたりんごを盗難被害から守るため、一致団結して防犯パトロールを実施する」と決意宣言をした。

JAでは、園地でりんごの野積み防止や倉庫の施錠など被害防止対策を呼び掛け、パトロールを強化する。



決意宣言をする佐藤佳克常務